

総合福祉研究発表

専門教育科目 / 4 単位 / TS 授業

担当教員 三宮 基裕

◆参考テキスト

木下是雄「レポートの組み立て方」ちくま学術文庫
古郡延治「論文・レポートのまとめ方」ちくま新書
久田則夫「社会福祉の研究入門」中央法規
江川 純「レポート・小論文の書き方」日本経済新聞社

講義概要・一般目標

本科目は、3年次または4年次において履修するものとし、スクーリング時の発表資料の基礎作業を行うものである。スクーリング「総合福祉研究Ⅰ」～「総合福祉研究Ⅲ」が主として共同討議・グループワーク、KJ法の活用、発表技法の開発・工夫等を通して課題の深まりを追求することとは異なり、個々人の興味・関心のある課題について、独自の考察、まとめ方を学習するものである。

問題意識とテーマ設定、問題への接近方法（分析視点等）、展開・考察の仕方、結論の導き方・まとめ方等の小論文・レポートの作成プロセスを中心に学習するものである。スクーリングの基礎資料として、各人それぞれのテーマについて的小論文をA4用紙4枚程度（約6,000字）にまとめて、その「要旨」（A4用紙1枚、スクーリング時に全員に配布）とともに指示された日時までに提出するものとする。

到達目標

下記の(1)から(4)までの各項目が記述内容に明確に反映するように、小論文・レポートを作成することができる。

(1) **問題意識とテーマ設定**：取り扱う問題の背景が理解でき、その問題を究明するための中心課題（テーマ）が適切に表示できる。

(2) **問題への接近方法（分析視点等）**：先行研究などを参考にして、当該問題の諸要因を把握するための視点を自覚的に設定し、その視点に基づいた方法に従って諸要因を分析し、その結果を記述できる。

(3) **展開・考察の仕方**：結果を解釈し、課題に対応した考察を行うことができる。

(4) **結論の導き方・まとめ方**：考察によって明らかにされた当該問題の結論を提示し、課題に対応した提案を行うことができる。今後の研究課題を含めて、論文・レポート全体をまとめることができる。

評価方法

T部分：提出レポート。

S部分：出席状況（遅刻・欠席は不可）、受講態度、科目単位認定試験（スクーリング最終日に実施）。

学習指導

1. 「事前レポート」およびその「要旨」の提出

社会福祉のそれぞれの科目で学んだことはもとより、現代的課題に応えたすぐれた実践に学んだこと、また、「総合福祉研究のスクーリング」で学んだこと等からテーマを絞り「レポート作成要領」「レポート要旨の書式」に従い作成

レポート字数：表紙を除いてA4用紙4枚程度

要旨字数：A4用紙1枚

提出期限：スクーリング約2週間前（詳細は後日お知らせします）

※「レポート作成要領」「レポート要旨の書式」は別途送付いたします。

2. スクーリング時の研究発表

「事前レポート」の内容について 10～20 分程度の発表（全学生）

- ・発表資料としては事前に提出した「要旨」を原則使用すること。
- ・Windows パソコンでパワーポイント等を使用しての発表も可。
 - ※プロジェクターは XP、VISTA、7 に対応したものを本学で準備
 - ※パソコンは各自持参すること
 - ※Mac パソコンは非対応

※提出していただいた「要旨」はスクーリング時に受講者全員に配布します。